

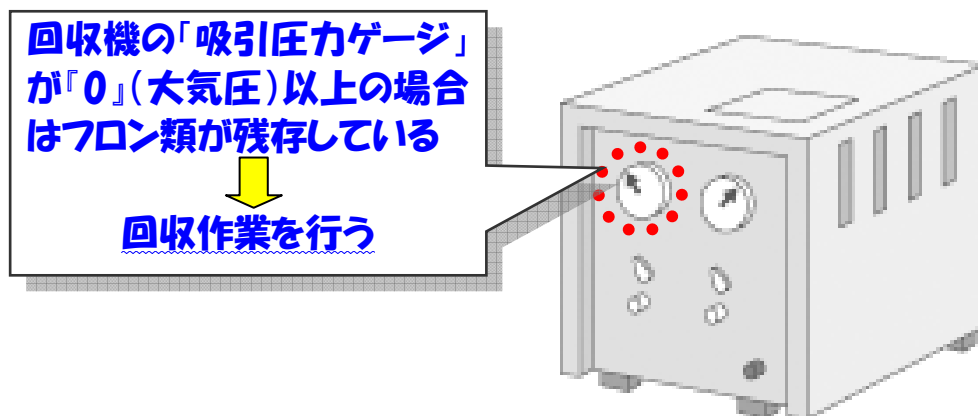
フロン類回収業者の皆さまへ

被災車両のフロン類回収について

津波等により被災した車両のフロン類回収を行う場合、以下の点に注意が必要です。

○ 海水の吸引は回収機の故障の原因になります。

- ⇒ 回収前に回収機の圧力計で、フロン類が残存しているか（大気圧以上であるか）を確認の上、作業を実施してください。圧力が上がらなければフロン類が抜けており、エアコン内に海水が浸入している可能性があります。



【参考】

- ・ 誤って海水を吸引してしまった場合は、「真空ポンプ」を使用して回収機内部を乾燥させる方法があります。
- ・ 車両のチャージバルブ（サービスバルブ）が破損している場合は「ピアシングプライヤ*」を使用して、ホースを接続する方法があります。

*配管に吸引用の穴を開ける工具です。

真空ポンプやピアシングプライヤに関する詳しい情報は、回収機を購入された販売店や回収機メーカーにお問い合わせください。

自動車再資源化協力機構（業務部）
TEL: 03-5405-6155 / E-mail: info@jarp.org